

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	創心会児童発達支援ルーム心歩茶屋町		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援内容のバリエーション	毎週活動内容に変化が加えられるよう意識して考案しています。作業療法士などの専門職の視点も取り入れながら、ただ活動を行うのではなく、活動の一つひとつに意味を持たせて、生活の中の動作に繋がるように考えています。活動内容の段階付けも行いながら、飽きずに達成感を得られるような仕組みになるよう意識しています。	より支援の質を高め、バリエーションを広げていくために、様々な研修や勉強会などに積極的に参加してまいります。お一人おひとりの将来の生活をイメージし、自立に向けた支援を提供することをより意識して関わってまいります。
2	他事業所との交流	心歩茶屋町だからこそできる同法人内の事業所との交流機会を多く作っています。特に放課後等デイサービスでは、お仕事体験をはじめ、実践的な他者とのやり取りを経験する機会を作っています。	現状の交流は継続していきながら、日常的なやり取りを行う機会も作り、より実践的な他者との関わりを経験する機会も作ってまいります。様々な場所で、様々な方々と関わり、多くの経験を積む機会を作ってまいります。
3	保護者様との情報共有	保護者様に毎回送迎をお願いしておりますが、毎回ご利用時に対面でお話をさせていただく時間があることで、日々の情報共有を密に行うことができています。	現状の口頭での情報共有だけでなく、送迎時にプラスアルファでお届けできるものを作りたいと思います。お迎え時に事業所での支援の様子を実際に見ていただいたり、活動に参加していただいたり、動画を活用してよりわかりやすく成長をお伝えするなどの工夫を行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	必要な訓練実施の周知不足	訓練実施は必要な時期にさせていただいていますが、送迎時に日々の様子をお伝えすることに一生懸命になり、お伝えし忘れていたことが多々あると考えています。	訓練実施時には連絡帳への記載をさせていただき、どのような訓練を実施したかの報告も併せてさせていただくことを徹底してまいります。
2	父母会の活動支援、保護者会の開催の不足	保護者様同士の交流機会を十分に作れていないのが現状です。保護者会、研修会など保護者様が皆様集まれる機会を作れていないこと、それらを開催するための準備・ノウハウが不足していることが要因であると考えます。	放課後等デイサービスでは参観日の開催ができていないのが現状です。保護者様同士で関わる機会として合同参観日などの開催も視野に入れてまいります。また、研修会や講演会のようなものの開催も企画してまいります。
3	ホームページやSNS等を活用した情報発信	ホームページやSNSを更新する担当を明確に定められていないことが情報発信が不足している要因の一つです。また、SNSを運用するにあたっての規約などを事業所内で十分に作成できていないことも課題であると考えます。	ホームページやSNSを運用するにあたっての規約を改めて定めていくこと、更新内容を精査し更新担当を決定していくことで情報発信を行っていただけるように努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 創心会児童発達支援ルーム心歩茶屋町

公表日 令和8年3月1日

利用児童数

31名

回収数

25名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1	0	3		
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	5		
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	0	0	1		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	2		
	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	0	0	0		
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	3	6	10		現状地域のお子さんとの交流機会は作れていません。必要性と行う場合の活動内容と合わせて検討してまいります。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	1	10		ご家族への支援、研修会の開催など今後も定期的に企画させていただきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	0	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	7	4	8		参観日の開催も含め、保護者会なども開催させていただき、皆様と交流する機会を作ってまいります。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	0	1	3		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	5	0	7		今後はSNSの活用も考えてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	0	11		周知が不足していたと感じております。皆様にしっかりと見える形で報告を今後行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	3	0	14		訓練は4月・9月に行っていますが、周知が不足していました。訓練報告も見える形で行えるように改善いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	4	0	7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0		引き続き安心して通所できる環境を整えてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	2	1		楽しく多くのことを経験することを大事に、引き続き支援を提供させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0		より満足していただけるように、支援の質を高めてまいります。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		創心会児童発達支援ルーム心歩茶屋町				公表日	令和8年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		可能な範囲でのバリアフリー化を行っています。構造化に関しては、利用者の発達段階に応じて対応を図っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者様からいただいたご意見を全職員で共有し、業務改善のためにどうしたら良いかを全体で話し合っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者の窓口をどこにお願いするかを決定し、評価していただくための仕組み作りを検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		事業所内での勉強会・研修会をはじめ他部門との勉強会を月1回程度で開催し、資質の向上に努めております。外部研修への参加も行っております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			検査や評価ツールをより用いて、アセスメントの幅を広げていく必要があると感じています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		児童指導員、作業療法士と多職種視点からプログラムを立案しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		毎週内容は変化させています。週毎に内容の段階付けも行っています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動・集団活動が行えるスペースを確保しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		活動プログラムの目的も含めて、個人への狙いも確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		各専門職種の視点での気づき・解釈の共有を毎日行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校との連携は適宜行っております。	より頻度を高めていくこと、連携を密に行っていくことが課題と考えています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	対象の方がいらっしゃる場合には情報共有の機会を設けています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		移行先へ療育情報提供書の提出をさせていただき、必要・状況に応じて会議への出席もさせていただいています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		スーパーバイズや助言は受けることができていない状況です。連携の図り方を考えてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	同施設内の保育所のお子さんと交流する機会を季節の行事ごとに設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		研修などは積極的に参加させていただいています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		毎回のご利用日送迎時に、事業所での様子の振り返りに加えて、生活場面での様子の共有もさせていただいています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			今後研修を定期的に開催できるように努めてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時にお話させていただくだけでなく、適宜面談の機会も設けさせていただいています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			現状放課後等デイサービスでは、参観日や保護者会等が開催できていない状況です。今後開催できるように努めてまいります。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	2			SNSの運用も今後行っていけるように体制を整えてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4				
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				訓練実施はしていますが、周知が不足していたように感じます。周知の仕方の見直しも図ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		同一建物内に在籍している管理栄養士の助言も得ながら対応させていただいています。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4				ご家族への周知が不足している点もあるのではないかと考えています。より皆様に周知できるよう周知の方法も見直してまいりたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		定期的にヒヤリハットの収集と再発防止の話し合いを行っています。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		社内で開催する研修と外部の研修も受講し、虐待防止に努めています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				該当者がいた場合には、十分な説明と個別支援計画書への記載を徹底してまいります。	